

自然災害発生時における業務継続計画

法人名	一般社団法人 一勉一步の会	種別	小規模保育園 障害児通所事業所
代表者	木村 緯歩子	管理者	木村 緯歩子
所在地	〒424-0044 静岡県清水区江尻台町 4-3	電話番号	保：054-340-1414 通：054-340-1416

目次

1. 総論	1
(1) 基本方針	1
(2) 推進体制	2
(3) リスクの把握	2
① ハザードマップなどの確認	2
② 被災想定	2
(4) 優先業務の選定	4
① 優先する事業	4
② 優先する業務	4
(5) 研修・訓練の実施、BCPの検証・見直し	4
① 研修・訓練の実施	4
② BCPの検証・見直し	5
2. 平常時の対応	5
(1) 建物・設備の安全対策	5
① 人が常駐する場所の耐震措置	5
② 水害対策	6
(2) 電気が止まった場合の対策	6
(3) ガスが止まった場合の対策	6
(4) 水道が止まった場合の対策	6
① 飲料水	6
② 生活用水	7
(5) 通信が麻痺した場合の対策	7
(6) システムが停止した場合の対策	7
(7) 衛生面（トイレ等）の対策	8
① トイレ対策	8
② 汚物対策	8
(8) 必要品の備蓄	8
(9) 資金手当て	8
3. 緊急時の対応	9
(1) BCP発動基準	9
(2) 行動基準	9
(3) 対応体制	9
(4) 対応拠点	9

(5) 安否確認	9
① 利用者の安否確認	9
② 職員の安否確認	9
(6) 職員の参集基準	9
(7) 施設内外での避難場所・避難方法	10
(8) 重要業務の継続	10
(9) 復旧対応	11
① 破損個所の確認	11
② 業者連絡先一覧の整備	11
4. 他施設との連携	12
(1) 連携体制の構築	12
5. 通所系・固有事項	12
<更新履歴>	13
【様式①】園児及びご利用児安否確認シート	14
【様式②】職員の安否確認シート	15
【様式③】建物・設備の被害点検シート	16
【様式④】連絡先リスト	17
【備蓄品】備蓄品リスト	

1. 総論

(1) 基本方針

【一般社団法人 一勉一步の会 基本方針】

当法人は、児童福祉事業を運営しており、小規模保育園・子育て支援・児童発達支援・放課後等デイサービスの福祉サービスを提供しています。

近年、全国各地で痛ましい被害報告のある地震・津波・豪雨等の災害発生において、お子さまの保育や支援の停止は、生命の危険や機能低下をもたらす恐れがあるため、災害時であっても命と共に生活をおくる最低限の子育て支援やサービスを継続していく必要（使命）があると考えております。

以下は項目ごとに分けて運営の目的を示します。

①安全確保

園児またはご利用児さまの命を守り、安全を確保しつつ、非常事態でも安心できる生活の場を提供致します（守ります）

②子育て支援・サービスの継続

深刻な状況となってしまう園児やご利用児（保護者）さまのサービスを優先して、できる限り再開致します。（レスパイトケアを含む）

③職員の安全と安心・雇用について

職員（保育士及び支援員）は自分の命を第一に守ることで、園児及びご利用児さまの命を守ることができます。

また、災害発生時にも事業を継続することにより、当法人の運営を健全に保つことは職員の雇用を守る上でも重要であると考えております。職員の安全や安心は法人への帰属意識向上にも繋がり、職員の生活を守ります。

④地域

日頃より、地域との連携を図り、季節行事等のイベントにご参加を促しています。

当法人の運営に興味やご協力を頂くことで、「共に生きる」ことをご理解頂きたいです。地域の災害対応向上に寄与することができ、地域における当法人の存在意義を認知して頂けるよう努めて参ります。

(2) 推進体制

主な役割	部署・役職	氏名	補足
全体の方針や計画の最終決定	施設長	木村 緯歩子	
財務や労務関係	施設長及び会計・社労士	保：木村 緯歩子・曾根 健太 通：木村 晃	
災害時の業務と上記補佐	副園長・児発管	保：曾根 健太 通：木村 晃	
保育部門全般	園長・副園長・現場責任者	木村 緯歩子・曾根 健太 塚田 真理子	
通所部門全般	児発管・現場責任者	木村 晃・木村 恵理子	
災害時の食料補給・調理	ウェルビーフードシステム	責任者	委託 ※備蓄品管理：各部門担当者

(3) リスクの把握

① ハザードマップの確認

※別紙拡大マップ参照

② 被災想定

【自治体公表の被災想定】

	リスク	備考
最大震度	想定 6 強	
自施設築年数（耐震化工事）	昭和 6 3 年築 同 4 月耐震検査合格	
津波	□あり（浸水深さ m） ☑なし	
浸水被害	☑あり（浸水深さ 0.5m） □なし 河川名（ 巴川 ）	
土砂災害	□あり・☑なし	
液状化	☑あり・□なし	

【通所部門固有・送迎に関する】

送迎ルート	該当ルート	該当者
☐ 土砂 ☐ 津波 ☐ 不可 ☒ 不明	国道1号線	学校送迎ルート
☐ 土砂 ☒ 津波 ☐ 不可 ☐ 不明	国道150号線	駿河区送迎ルート
☐ 土砂 ☐ 津波 ☒ 不可 ☐ 不明	静清バイパス	葵区送迎ルート
☐ 土砂 ☐ 津波 ☐ 不可 ☒ 不明	南幹線道路	駿河区・清水区（一部）

交通被害

道路：【①国道1号線】【②静清バイパス】【③南幹線道路（清水⇄駿河）】【④北街道】

橋梁：【桜橋（清水）】【巴川橋（清水）】【曲金橋（葵・駿河）】【安倍川橋（葵）】

鉄道：【JR 東海道新幹線】【静岡鉄道東海道線】⇄各踏切遮断

ライフライン

上水：1週間 ～ 1ヶ月

下水：1週間 ～ 1ヶ月

電気：停電後に自家発電に切り替え→カセットボンベ発電

ガス：IH クッキングヒーターのため使用不可→カセットコンロ及び炊き出し準備

通信：電話→被災直後に不通。1～2週間またはそれ以上

携帯→被災直後から繋がりにくくなる。概ね3日～5日で一部復旧見込

インターネット→電話→被災直後に不通。1～2週間またはそれ以上

【自施設で想定される影響】

	当日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
電力	部分的に自家発電						
飲料水	保有水						
生活用水	紙皿・固剤使用						
携帯電話	繋がりにくい状況が続く見込み→公式ラインで一斉送信・HP更新						
メール	繋がりにくい状況が続く見込み						
調理	備蓄品を使用						

(4) 優先業務の選定

① 優先する事業

<優先する事業>

■保育部門

基本的には休止をするが、ご家庭の状況により子育てができないまたは、保護の対象となる児童においては時間短縮のご協力等を検討して受け入れる。

■通所部門

基本的には休止をするが、ご家庭の状況により支援が必要または、保護の対象となる児童においては時間短縮のご協力等を検討して受け入れる。

※送迎サービスは中止とする

職員確保と業務短縮をすることは事前に知らせる。

② 優先する業務

優先業務	必要な職員数			
	朝	日中	夕	夜
再開に向けた整備（各長）	1名			
保育部門	1名	3～6名	3名	必要に応じ
通所部門	2名	4名	2名	必要に応じ
他機関との連絡調整	1名			

※夜間において職員の参集は行わない。→別紙参照

(5) 研修・訓練の実施、BCPの検証・見直し

① 研修・訓練の実施

訓練実施の方針、頻度、概要等について記載する。

■年間目標と年間計画を毎年作成し、実施をする。

■地震と火災訓練による避難訓練

■風水害による避難訓練

■事業継続に関わる部分訓練を適宜実施

①引き渡し訓練

②帰宅困難対応訓練→寝袋や炊き出し等

③安否報告訓練→公式 LINE 一斉送信

④情報収集訓練

⑤ライフライン停止時の調理や排泄等訓練

年1～2回以上

② B C P の検証・見直し

評価プロセス

- 訓練毎に気づいたことや見直しが必要な部分は職員間で情報共有をする。
また、次回の訓練に反省点を改善するためにも職員会議の議題に項目を追加する。
- 委員会（保育・通所）を設置し、年1回見直しを実施する。
- 年度末に年間の目標に対して達成度を評価する。
- 次年度の目標設定や年間計画に反映させられるようにする。
- 継続した評価と改善を繰り返し行うこと。

項目	内容
BCP	①送迎時のマニュアル整備 ②外部協定の検討 ③訓練した部分は結果を反映して見直す
備品	①随時災害食を更新→給食にて提供（訓練） ②発電機・テント・防災用釜等の追加購入を検討 ③使用訓練
人材育成	①普通救命講習を受講する ②送迎時の発災対応を全員が理解する ③帰宅困難時の対応シミュレーション訓練を行う ④風水害時の情報収集訓練を実施する ⑤公式 LINE を使った安否確認訓練を実施する

2. 平常時の対応

（1）建物・設備の安全対策

① 人が常駐する場所の耐震措置と設備の耐震措置

場所	対応策	備考
ヒッポ保育園		
事務所	書庫	L 字金具固定
保育室	おもちゃ棚	L 字金具固定
	布団押入れの戸棚	ベルトロック
	衣類カゴ等の棚	L 字金具固定
	遊具等の片付け	使用後は速やかに壁固定
給食室	乾燥機	業者による点検
	冷蔵庫	ストッパー
	カップボード	ストッパー

場所	対応策	備考
こどもサポート・ポプリ		
事務所	書庫	ストッパー
プレイルーム	遊具等	使用後は速やかに片付け
	ランドセル棚	ストッパー
	上着（突っ張り棒）	冬場のみ使用
療育室	おもちゃ棚	ストッパー
	おむつ棚	使用後は速やかに片付け

②水害対策

対象	対応策	備考
1 階玄関	土嚢を外倉庫に保管	(共通)
大雨・洪水	警報発令時の対応基準	マニュアル参照
台風	事前準備と対応基準	マニュアル参照

(2) 電気が止まった場合の対策

稼働させるべき設備	自家発電機もしくは代替策
冷蔵庫	発電機またはクーラーボックスを使用 保冷剤にて一時的に温度を保つ
PC や事業所携帯電話	発電機・大容量バッテリー
照明	ランタン・懐中電灯
冷房	発電機により扇風機を使用
暖房	ホッカイロや毛布・ハロゲンヒーターを使用
調理器具	カセットコンロや炊き出し釜を使用

(3) ガスが止まった場合の対策

稼働させるべき設備	代替策
IH クッキングヒーター	発電機
給湯（お湯）	発電機またはカセットコンロを使用
ガスコンロ（調理）	または炊き出し釜を使用

(4) 水道が止まった場合の対策

① 飲料水

※別紙備蓄品参照

② 生活用水

■ポリタンク

18リットル×5本 外倉庫に保管

■巴川より給水のトイレ等汚物処理に使用する

(5) 通信が麻痺した場合の対策

■職員間

ヒッポ保育園 = グループ LINE → 携帯電話に連絡

こどもサポート・ポプリ = グループ LINE → 携帯電話に連絡

■園児またはご利用児（保護者）

ヒッポ保育園 = 第1連絡先から順番に電話連絡

こどもサポート・ポプリ = 公式 LINE 一斉送信

■各所管

PC メールまたは HP に記載

(6) システムが停止した場合の対策

■PC の保護

■PC バックアップの確認

■クラウドデータの確認

■請求システムの稼働確認

■Web 銀行振り込みシステムの確認（本部）

(7) 衛生面（トイレ等）の対策

① トイレ対策

【園児またはご利用児】

■簡易非常用トイレ

- 排水が可能な場合はポリタンク水を使用する
- 便座にごみ袋を設置
- 凝固剤を使って固めて捨てる

■おむつ類

- 帰宅困難を想定して1日～3日分の予備（備蓄）を常に用意しておく
- ある程度の予備を事業所でも保管しておく

② 汚物対策

■通常通りの生活ゴミ扱いとして破棄する

- 回収が停止している場合、もしくは場所等の変更も想定されるので情報収集をして対応していく。敷地内仮設場を設け、不衛生対策としてビニールシートを2重にして管理する。

(8) 必要品の備蓄

※別紙備蓄品参照

(9) 資金手当て

■各種保険証の一覧作成（火災・車両・人身）

- 手元資金として持ち出し各10万円保管

3. 緊急時の対応

(1) B C P 発動基準

【地震による発動基準】

- 静岡市内で震度 5 強（葵区～清水区、富士市一部でも観測された場合）
- ライフライン停止
- JR 線・静岡鉄道・静岡バス等、公共交通機関が不通になった場合
- その他管理者が必要と認めた場合
（南海トラフに関する情報が発表された…）
（津波注意報・警報等が発令された…）

【水害による発動基準】

- 大雨洪水、豪雨等の警報・注意情報が発表された場合
- 興津・巴川・付近河川敷等で増水で被害が想定される場合

管理者	代替者①	代替者②
木村 緯歩子	保：曾根 健太 通：木村 晃	保：塚田 真理子 通：木村 恵理子

(2) 行動基準

※別紙行動基準参照

(3) 対応体制

※別紙対応体制参照

(4) 対応拠点

第 1 候補場所	第 2 候補場所	第 3 候補場所
江尻小学校	江尻障害学習交流館	清水国際高等学校

(5) 安否確認

① 利用者の安否確認

【安否確認ルール】※安否確認表参照

② 職員の安否確認

【安否確認ルール】※安否確認表参照

(6) 職員の参集基準

【自動参集基準の対象外等】※参集ルール表参照

(7) 施設内外での避難場所・避難方法

【施設内】

	第 1 避難場所	第 2 避難場所
避難場所	保：保育室中央または各クラス中央 通：多目的ホール中央	2 階多目的ホール・プレイルーム
避難方法	【共通】 ①保育士の呼びかけ又はホイッスル等で子どもたちに地震が起きたことを知らせる。 ②1名の保育士は中央で待機 ③その他の保育士は誘導 or 歩行が難しい場合はその場で待機もしくは抱きかかえて中央へ移動	保：揺れが収まり状況により2階多目的ホールまたは園外に避難 通：揺れが収まり状況により合流または園外に避難

【施設外】→※別紙安否確認表参照

(8) 重要業務の継続

ヒッポ保育園		
職員人数	園児／ご利用児	業務内容
■あんよ組（0歳）		
1名	3名以内	■外出は禁止（園庭は可） ■日常生活に支障をきたさないように保育を行う
■やんちゃ組（1歳）		
1名	4名以内	■外出は禁止（園庭は可） ■日常生活に支障をきたさないように保育を行う
■わんぱく（2歳）		
1名	5名以内	■外出は禁止（園庭は可） ■日常生活に支障をきたさないように保育を行う
■統合の場合（0～2歳児）		
3名	合計10名	■外出は禁止（園庭は可） ■出席する園児の年齢により分担を決める ■日常生活に支障をきたさないように保育を行う

こどもサポート・ポプリ		
4 名	10 名	■日中の活動には十分に 注意をして通常支援
3 名	7 名	■基本的に送迎不可 ■外出は一部見合わせ ■活動の変更→室内 or 屋外
2 名	5 名	■送迎不可 ■外出禁止 ■時間短縮

(9) 復旧対応

① 破損個所の確認 (チェックリスト)

対象		状況 (いずれかに○)	対応事項／特記事項
建物	躯体被害	重大 ・ 軽微 ・ 無	
	電気	通電 ・ 不通	
	水道	出 ・ 否	
	電話	通 ・ 否	
	インターネット	通 ・ 否	
設備 (フロア)	ガラス	破損飛散 ・ ヒビ ・ 無	
	天井	破損飛散 ・ ヒビ ・ 無	
	床	破損飛散 ・ ヒビ ・ 無	
	壁	破損飛散 ・ ヒビ ・ 無	
	照明	破損落下 ・ 不通 ・ 無	
	エアコン	破損落下 ・ 不通 ・ 無	
	各コンセント	通 ・ 無	

② 業者連絡先一覧の整備

円滑に復旧作業を依頼できるよう各種業者連絡先一覧を準備しておく。

業者名	連絡先	業務内容
ウェルビーフードシステム	054-353-6868	食品
プレイズ	090-7611-7573	建物
飯田電気	054-366-5224	電気系統

4. 他施設との連携

(1) 連携体制の構築

【連携関係のある施設・法人】

施設・法人名	連絡先	内容
飯田南こども園	054-366-6216	幼児連携園

【連携関係のある医療機関（協力医療機関等）】

医療機関名	連絡先	内容
静岡済生会病院（小児）	054-285-6171	園児及びご利用児の検診
原小児科	054-352-6367	園児及びご利用児の相談等
まさ歯科クリニック	054-348-5086	歯科検診

【連携関係のある社協・行政・自治会等】

名称	連絡先	内容
子育て支援課	054-354-2622	園児に関わること
障害者支援推進課	054-221-1098	ご利用児に関わること

5. 固有事項

【平時からの対応】

- 会議等で災害対応を検討→避難準備・備蓄等の促し
- リスクの確認→移動中・訪問中
- ハザードマップに移動ルート記載し確認
- （通）車載の簡易マニュアル作成→移動中・訪問中の初動
- 引き渡しルールを決めて周知
- 帰宅困難者対応の寝具や食事・排泄・薬の備蓄等の用意
- 事業休止基準の設定と周知

【災害が予想される場合の対応】

- 南海トラフ関連情報時の時間短縮や休止→沿岸部・山間地
- 暴風域や警戒レベル3以上の事業休止や避難

【災害発生時の対応】

- 引き渡し
- 帰宅困難対応

<更新履歴>

更新日	更新内容	更新者
令和4年3月	基本情報作成	木村 晃

【様式①】 園児・ご利用児の安否確認シート

[illegible]

【様式②】 職員の安否確認シート

職員氏名	安否確認	自宅の状況	家族の安否	出勤可否
	無事 ・ 死亡 負傷 ・ 不明	全壊 ・ 半壊 問題無し	無事 ・ 死傷有 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
	無事 ・ 死亡 負傷 ・ 不明	全壊 ・ 半壊 問題無し	無事 ・ 死傷有 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
	無事 ・ 死亡 負傷 ・ 不明	全壊 ・ 半壊 問題無し	無事 ・ 死傷有 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
	無事 ・ 死亡 負傷 ・ 不明	全壊 ・ 半壊 問題無し	無事 ・ 死傷有 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
	無事 ・ 死亡 負傷 ・ 不明	全壊 ・ 半壊 問題無し	無事 ・ 死傷有 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
	無事 ・ 死亡 負傷 ・ 不明	全壊 ・ 半壊 問題無し	無事 ・ 死傷有 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
	無事 ・ 死亡 負傷 ・ 不明	全壊 ・ 半壊 問題無し	無事 ・ 死傷有 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
	無事 ・ 死亡 負傷 ・ 不明	全壊 ・ 半壊 問題無し	無事 ・ 死傷有 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
	無事 ・ 死亡 負傷 ・ 不明	全壊 ・ 半壊 問題無し	無事 ・ 死傷有 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
	無事 ・ 死亡 負傷 ・ 不明	全壊 ・ 半壊 問題無し	無事 ・ 死傷有 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
	無事 ・ 死亡 負傷 ・ 不明	全壊 ・ 半壊 問題無し	無事 ・ 死傷有 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
	無事 ・ 死亡 負傷 ・ 不明	全壊 ・ 半壊 問題無し	無事 ・ 死傷有 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
	無事 ・ 死亡 負傷 ・ 不明	全壊 ・ 半壊 問題無し	無事 ・ 死傷有 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
	無事 ・ 死亡 負傷 ・ 不明	全壊 ・ 半壊 問題無し	無事 ・ 死傷有 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
	無事 ・ 死亡 負傷 ・ 不明	全壊 ・ 半壊 問題無し	無事 ・ 死傷有 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
	無事 ・ 死亡 負傷 ・ 不明	全壊 ・ 半壊 問題無し	無事 ・ 死傷有 備考()	可能 ・ 不可能 備考()

【様式③】 建物・設備の被害点検シート

対象		状況（いずれかに○）	対応事項/特記事項
建物	躯体被害	重大 ・ 軽微 ・ 無	
	電気	通電 ・ 不通	
	水道	出 ・ 否	
	電話	通 ・ 否	
	インターネット	通 ・ 否	
設備 (フロア)	ガラス	破損飛散 ・ ヒビ ・ 無	
	天井	破損飛散 ・ ヒビ ・ 無	
	床	破損飛散 ・ ヒビ ・ 無	
	壁	破損飛散 ・ ヒビ ・ 無	
	照明	破損落下 ・ 不通 ・ 無	
	エアコン	破損落下 ・ 不通 ・ 無	
	各コンセント	不通 ・ 無	

【様式④】 連絡先リスト

氏名	所属先	電話番号	電話番号	備考